

令和3年度 長井市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和4年5月

長井市（山形県）

○計画期間：令和3年4月～令和8年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点（令和4年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市では、令和3年4月以降、認定基本計画に基づき「時代（とき）・エリア・人をつなぐ」をテーマに、第1期計画の検証を踏まえ、「快適・安全で市民や観光客が集まる魅力あるまちづくり」、「人が集い、回遊したくなる魅力を生む仕組みづくり」、「まちづくりを支える人材の育成及び商業活動の活性化による賑わいづくり」の3つの基本方針のもと、75事業を推進することで中心市街地の活性化に取り組んでいる。

結果として3事業が完了し、56事業が着手・実施中、16事業が未実施（新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業を含む。）となった。

令和3年5月に山形鉄道フラワー長井線長井駅の駅舎と一体となった市役所新庁舎が開庁し、市内各所に分散していた役所機能が集約され市民の利便性の向上が図られた。また、駅と市役所の間にある市民交流スペースでは、電車を待つ人の姿に加え、飲食をする人や勉強する学生の姿も見られるようになり、市民の集う場となりつつある。

令和4年3月変更により追加したタスビル整備事業においては、ワーケーションルームやコワーキングスペース、eスポーツスタジオの整備が完了し供用を開始しており、産業振興交流拠点施設として賑わい創出に寄与することが期待されている。

一方で、中心市街地全体としてみると新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントの中止や規模縮小、外出自粛を余儀なくされ、想定していた事業の効果を得ることができなかった。歩行者通行量については感染拡大前に右肩上がりで増加していたものが、令和3年度は基準値（令和元年度）の約7割にとどまる結果であった。今後の見通しが見えない状況ではあるが、各事業の効果が最大限発揮されるよう官民が一体となって中心市街地の活性化を図っていく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（1）居住人口

（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地 区域）	令和2年度 （計画前年度）	令和3年度 （1年目）	令和4年度 （2年目）	令和5年度 （3年目）	令和6年度 （4年目）	令和7年度 （5年目）
人口	3,817	3,626				
人口増減数	△64	△191				
自然増減数	△20	△28				
社会増減数	△44	△163				
転入者数	217	120				

(2) 地価

(単位：円/㎡)

(中心市街地 区域)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
東町 10-14	19,200	19,000				

2. 令和3年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

新型コロナ感染拡大に伴い、イベントの中止や規模縮小、外出自粛を余儀なくされた結果、認定基本計画の目標である「都市機能の充実」において「各施設利用者数」が目標値を下回る実績が報告された。また「まちなかの回遊機能の向上」においても「歩行者・自転車等通行量」が基準値より減少した。一方で、市庁舎・長井駅移転事業が完了したことで利便性が向上された中、「にぎわいの創出」においては「空き地・空き店舗解消数」が改善している。各目標の見通しとしては、今後予定されている事業の実施により目標達成が見込まれることから、概ね順調と評価する。

取り組みの課題として、文化財や空き店舗等の活用促進において、所有者が地元にはいない等の理由により、未活用となっているケースが見られる。そのため、事業主体と所有者、そして行政との連携を充実させていく必要があり、三者の関係性をつなぐための施策を要望したい。

今後は特に、起点と動線を意識させるような認定基本計画の広報と、新潟市と仙台市の間地点である立地を生かした誘客促進を図られたい。さらに、人を中心としたまちづくりを進めるために、若い人の考え方をまちづくりに反映させつつ、認定基本計画に掲げる諸事業が着実かつ速やかに展開されることを期待するものである。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
都市機能の充実	各施設利用者数（人/年）	128,756 人 (R1)	201,700 人 (R7)	95,444 人 (R3)	C	—	1
まちなかの回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量（平日・休日の合計）	2,125 人 (R1)	2,300 人 (R7)	1,411 人 (R3)	C	—	1
賑わいの創出	空き地・空き店舗解消数（件）	— (R1)	25 件 (R7)	5 件 (R3)	A	—	①

< 基準値からの改善状況 >

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「各施設利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により観光ボランティアガイド事業及び地域連携DMO事業による効果を得ることができず基準値に及ばなかった。今後は新型コロナウイルス感染症に対応した事業の実施により、目標達成を目指していく。また、公共複合施設の供用開始が令和5年度中であり、本施設の効果により目標達成が見込まれる。

「歩行者・自転車等通行量」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により観光ボランティアガイド事業及び地域連携DMO事業による効果を得られなかったことと、公共複合施設整備事業による効果が含まれていないことから、基準値に及ばなかった。また、調査日の天候が悪かったことが結果に大きく影響したと考えられる。今後は、公共複合施設整備事業及び都市計画道路桐町成田線整備事業の効果により目標達成が見込まれる。

「空き地・空き店舗解消数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が停滞し、新規出店や起業が抑えられたものと考えられるが、徐々に経済活動が活発になっていくことに加え、公共複合施設整備事業や都市計画道路桐町成田線整備事業の効果もあり新規出店や土地の活用が促され目標達成が見込まれる。

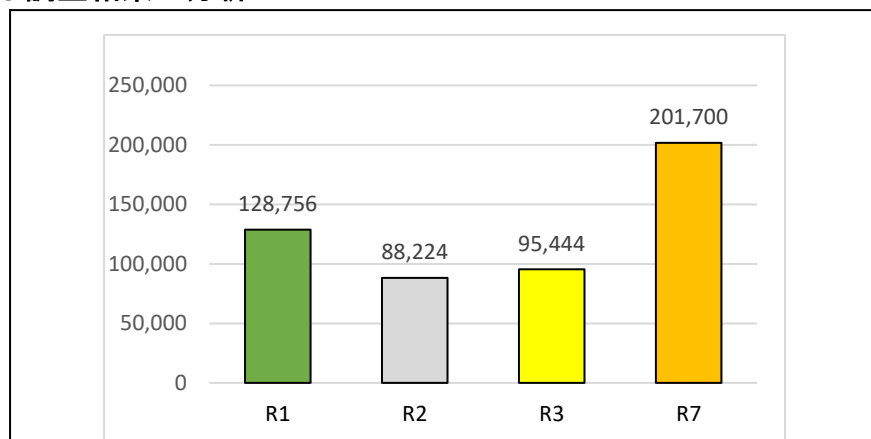
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「各施設利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 66 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R1	128,756 (基準年値)
R2	88,224
R3	95,444
R7	201,700 (目標値)

※調査方法：図書館、子育て支援施設、文教の杜、旧長井小学校第一校舎、けん玉広場
スパイクの利用者数を集計

※調査月：令和3年4月～令和4年3月

※調査主体：長井市

※調査対象：各施設利用者



(単位：人)

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
図書館	18,914	23,520				
子育て支援施設	2,125	2,450				
文教の杜	3,526	5,049				

旧長井小学校第一校舎	62,152	62,595				
けん玉広場スパイク	1,507	1,830				
合計	88,224	95,444				

〈分析内容〉

各施設利用者数の増加に向けた各事業については、ハード事業は概ね予定どおりに完了したが、ソフト事業は新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおりに実施できなかった。

事業ごとにみると、公共複合施設整備事業については、令和5年度中の供用開始に向けて順調に整備が進んでおり施設利用者数が大幅に増える見込みである。観光ボランティアガイド事業や地域連携DMO事業については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり思うように結果が伸びなかった。

また、各施設の利用者数については、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により基準年度より利用者数が少なかったと推察されるが、令和2年度と比較すると改善している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	多機能型図書館機能と子育て支援機能を併せ持つ複合施設を整備し、市民生活の向上や賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画（長井駅前地区））（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：（図書館機能分）26,207人 （子育て支援機能分）44,483人 令和5年7月の完成に向けて、工事は予定どおりに進んでいる。
事業の今後について	建設工事を進めるとともに、公共複合施設内の機能や施設のオープンに合わせて実施するイベントの検討など、継続的な賑わいの創出に向けたソフト面での検討も併せて進めていく。

②. 市庁舎・長井駅移転事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	令和2年度完成の新庁舎と長井駅の合築した建物へ市役所を移転するもので、分散していた役所機能を集約し市民の利便性の向上や賑わい創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：1,040人増加 令和3年3月竣工、5月6日開庁。本事業目標値の設定にあたっては、フラワー長井線の乗降者増加見込みにより算出している。1日あたりの長井駅乗車人員は令和3年度（2月末時点）205人と令和元年度の246人より減少している。新型コロナウイルス感染症

	の感染拡大による外出自粛が原因であると考えられる。
事業の今後について	市庁舎市民交流スペースを活用した取り組みを実施することで、来庁者を増やし、駅周辺の回遊性を高めるための交流拠点のひとつとしての役割を担っていく。

③. 観光ボランティアガイド事業（長井市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	ながい黒獅子の里案内人による観光ボランティアガイドを行うもので、市内のイベント期間のみならず、観光でまちを訪れた方にまち歩きをしながら長井の魅力を伝えるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：850人増加 令和3年度のまちなか歩きの案内実績は648人と令和元年度実績の2,306人を下回る結果であった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛が原因であると考えられる。
事業の今後について	人数制限や感染防止対策を徹底しながら、継続・拡大し実施していく。

④. 地域連携DMO事業（長井市、やまがたアルカディア観光局）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町の2市3町の地域の観光地域づくりを推進するため、滞在交流型観光等を企画・運営し、広く地域の魅力を発信するもの。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和元年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：436人増加 令和3年の中心市街地に立ち寄る滞在交流型旅行商品の参加人数は224人（催行数17回）と令和元年度実績の533人（催行数32回）を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や、企画の中止が影響していると考えられる。
事業の今後について	アフターコロナを見据え、インバウンドに向けた受入体制整備をより進めながら誘客を図っていく。

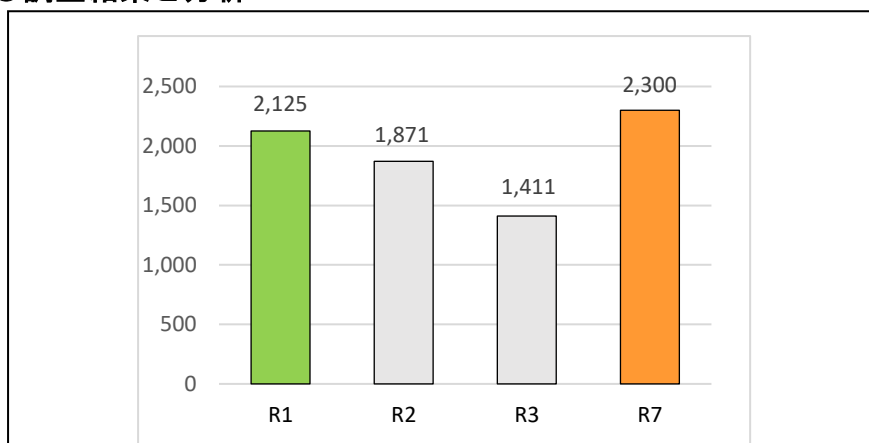
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業のうち、ハード事業は概ね予定どおりに完了したが、ソフト事業は新型コロナウイルス感染症の影響により思うように結果に結びつかなかった。

今後は、ハード事業を確実に遂行するとともに、アフターコロナを見据え、インバウンドに向けた受入体制の整備や、公共複合施設を活用したソフト事業を検討していくことで、各施設の利用者数を増やすとともに、生まれた賑わいを中心市街地全体に波及させる仕組みづくりを進めていきたい。

(2)「歩行者・自転車等通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 67～P. 69 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R1	2,125 (基準年値)
R2	1,871
R3	1,411
R7	2,300 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車等通行者、毎年9～11月の平日、休日各1日ずつ、9時～19時まで計測

※調査月：令和3年10月

※調査主体：長井市

※調査対象：中心市街地内の4地点（スパイク前、市民駐車場前、桑島記念館南側（旧東北労金前）、クロスバ前）における歩行者及び自転車等の通行量



(単位：人)

		令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
スパイク前	平日	162	91				
	休日	145	209				
市民駐車場前	平日	647	306				
	休日	186	284				
桑島記念館南側 (旧東北労金前)	平日	59	32				
	休日	56	83				
クロスバ前	平日	365	120				
	休日	251	286				
合計		1,871	1,411				

〈分析内容〉

歩行者・自転車等通行量の増加に向けた各事業については、ハード事業は概ね予定どおりに完了したが、ソフト事業は新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおりに実施できなかった。

市庁舎・長井駅移転事業により、スパイク前及び桑島記念館南側の通行量が増加すると見込んでいたが、平日の通行量については、調査日が雨で強風だったこともあり、令和2年度に比べて減少している。(平日は全地点で前年比減少。) 休日の通行量については全地点で増加しており、基準年度で新型コロナウイルス感染症感染拡大前である令和元年度と比較しても休日は全地点で通行量が増加している。

平成30年度から調査している3地点(桑島記念館南側以外の地点)の合計で比較しても、休日の通行量は増加しており、第1期計画からの継続した取り組みの成果と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 都市計画道路桐町成田線街路整備事業(山形県)

事業実施期間	平成23年度～令和5年度【実施中】
事業概要	都市計画道路桐町成田線における道路拡幅、歩道整備及び無電中化を行い、歩きたくなる歩行空間を形成するもの。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金(道路事業(街路))(国土交通省)(令和3年度～令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：クロスバ前 82人増加(基準値：565人) クロスバ前の実績は406人であり、令和元年度実績の565人から減少した。全長390mのうち南側200mは事業完了。令和3年度末時点の進捗率は90.2%であった。
事業の今後について	令和5年度中の事業完了に向けて、北側区画(190m)の整備を進めていく。

②. 観光ボランティアガイド事業（長井市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	ながい黒獅子の里案内人による観光ボランティアガイドを行うもので、市内のイベント期間のみならず、観光でまちを訪れた方にまち歩きをしながら長井の魅力を伝えるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で5人増加 令和3年度のまちなか歩きの案内実績は648人と令和元年度実績の2,306人を下回る結果であった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛が原因であると考えられる。
事業の今後について	人数制限や感染防止対策を徹底しながら、より多くの方にガイドができるよう取り組んでいく。

③. 地域連携DMO事業（長井市、やまがたアルカディア観光局）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町の2市3町の地域の観光地域づくりを推進するため、滞在交流型観光等を企画・運営し、広く地域の魅力を発信するもの。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和元年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で2.4人増加 令和3年の中心市街地に立ち寄る滞在交流型旅行商品の参加人数は224人（催行数17回）と令和元年度実績の533人（催行数32回）を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や、企画の中止が影響していると考えられる。
事業の今後について	今後も中心市街地に立ち寄る旅行商品を企画し、賑わいの創出を図っていく。

④. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	多機能型図書館機能と子育て支援機能を併せ持つ複合施設を整備し、市民生活の向上や賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画（長井駅前地区））（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で50人増加 令和5年7月の完成に向けて、工事は予定どおりに進んでいる。
事業の今後について	建設工事を進めるとともに、公共複合施設内の機能や施設のオープンに合わせて実施するイベントの検討など、継続的な賑わいの創出

	に向けたソフト面での検討を進めていく。
--	---------------------

⑤. 市庁舎・長井駅移転事業（長井市）

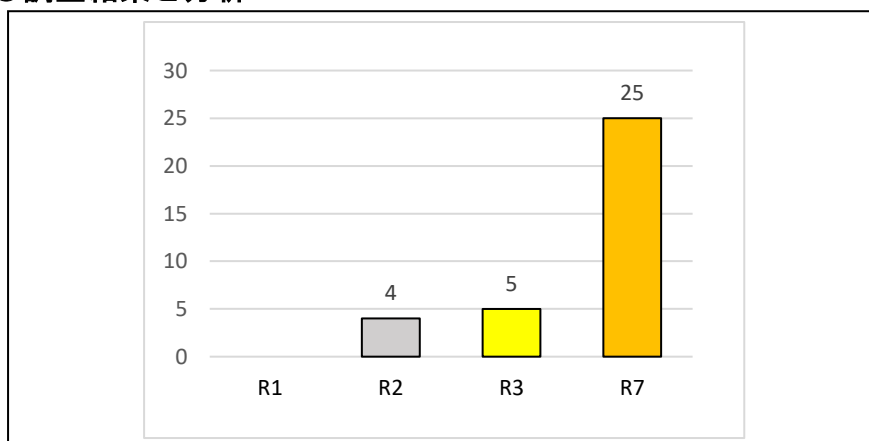
事業実施期間	令和２年度～令和３年度【済】
事業概要	令和２年度完成の新庁舎と長井駅の合築した建物へ市役所を移転するもので、分散していた役所機能を集約し市民の利便性の向上や賑わい創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：全体で１３０．２人増加 令和３年３月竣工、５月６日開庁。令和３年７月の平日１日の市庁舎及び駅構内への流入者数は１，３２４人（職員含む。）であった。分散していた役所機能を集約したことにより、来庁者が増加したものと推察される。
事業の今後について	市庁舎市民交流スペースを活用した取り組みを実施することで、来庁者を増やし、駅周辺の回遊性を高めるための交流拠点のひとつとしての役割を担っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者通行量については、主要事業は概ね順調に進捗しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛等により、事業の効果は十分に発現していない。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中でも事業の効果をもっと高めていくため、各事業内容について工夫、見直しを行い実績を伸ばしていきたい。

（３）「空き地・空き店舗解消数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70～P. 73 参照

●調査結果と分析



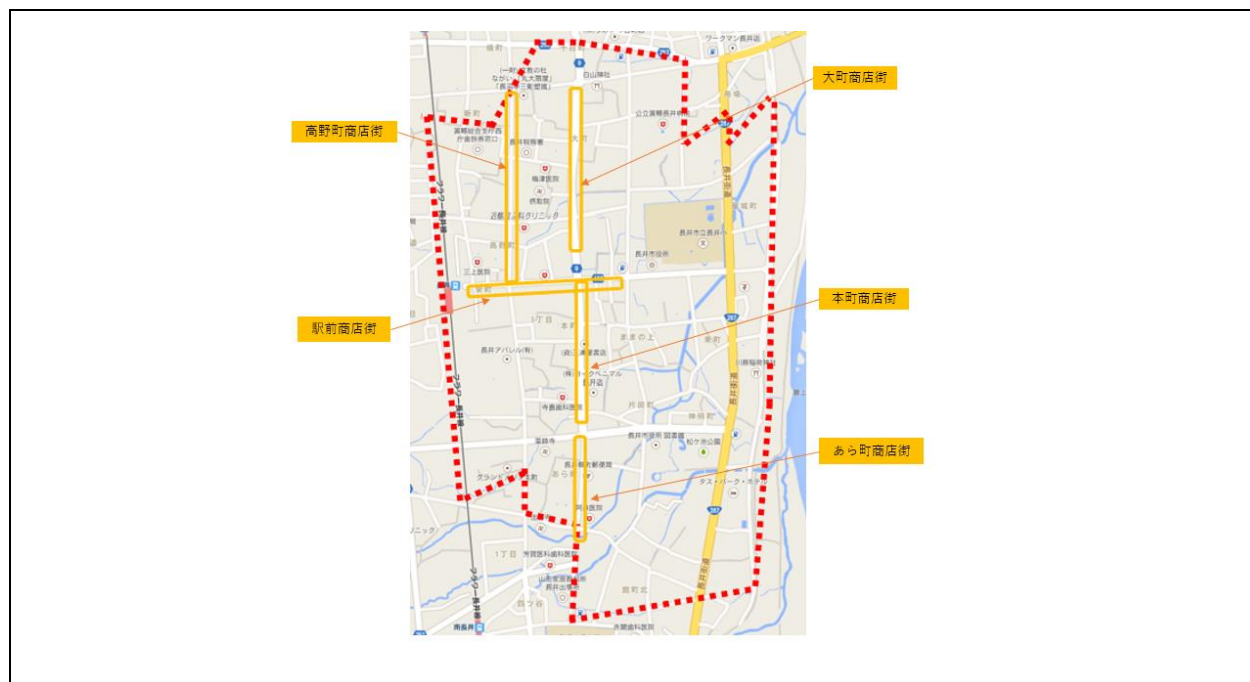
年	(件)
R1	— (基準年値)
R2	4
R3	5
R7	25 (目標値)

※調査方法：市内５商店街における空き地・空き店舗の数を毎年９～１１月のある１日を基準日と設定して計測する。

※調査月：令和３年１１月

※調査主体：長井市

※調査対象： 市内5 商店街



(単位：件)

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)
本町商店街	2	2				
あらまち商店街	1	1				
駅前商店街	0	1				
大町商店街	1	0				
高野町商店街	0	1				
合計	4	5				

〈分析内容〉

令和3年度の実績については、空き地・空き店舗から住宅や駐車場になったケースが4件あり、店舗等以外への活用が多くみられる。新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞したことで、新規出店等が減少していることが想定される。今後の都市計画道路鞆町成田線整備事業や公共複合施設整備事業の完了により、新規出店や創業が促されると推察する。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 起業・創業支援事業（長井市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	空き地や空き店舗を活用して起業を希望する個人又は法人等に対して、賃借料の一部や広告宣伝費等について支援する事業
国の支援措置名	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和3年4月～令和8年3月）

及び支援期間	月)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：15件 最新値：0件 調査対象外の空き店舗ではあるが、本事業により中心市街地区域内において2件の空き店舗が解消した。
事業の今後について	今後も事業を継続して実施し、空き店舗等を活用した起業支援を行っていく。

②. 都市計画道路桐町成田線街路整備事業（山形県）

事業実施期間	平成23年度～令和5年度【実施中】
事業概要	都市計画道路桐町成田線における道路拡幅、歩道整備及び無電中化を行い、歩きたくなる歩行空間を形成するもの。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（令和3年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：3件 全長390mのうち南側200mは事業完了。令和3年度末時点の進捗率は90.2%であった。
事業の今後について	令和5年度中の事業完了に向けて、北側区画（190m）の整備を進めていく。

③. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	多機能型図書館機能と子育て支援機能を併せ持つ複合施設を整備し、市民生活の向上や賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画（長井駅前地区））（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：2件 令和5年7月の完成に向けて、工事は予定どおりに進んでいる。
事業の今後について	建設工事を進めるとともに、公共複合施設内の機能や施設のオープンに合わせて実施するイベントなど、継続的な賑わいの創出に向けたソフト面での検討を進める。

④. 市庁舎・長井駅移転事業（長井市）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	令和2年度完成の新庁舎と長井駅の合築した建物へ市役所を移転するもので、分散していた役所機能を集約し市民の利便性の向上や賑わい創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：5件 令和3年3月竣工、5月6日開庁。役所機能を集約したことに加え、駅と一体化したことにより利便性が向上した。また、市役所前を会場とするイベントの実施により賑わいの創出に繋がっている。
事業の今後について	市庁舎交流スペースを活用した取り組みを実施することで、来庁者を増やし、駅周辺の回遊性を高めるための交流拠点のひとつとしての役割を担っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策
 主要事業は概ね順調に進捗しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞や外出自粛等により、事業の効果は十分に発現していない。公共複合施設の完成による賑わい創出は期待できるが、それ以外にも各ソフト事業を実施することで継続的な賑わいの創出を図り、まちなかの魅力を高め、中心市街地への投資を促していきたい。また、各商店街のビジョンを検討することで機運の醸成を図り、商店街による新たな事業の実施や人材の育成につなげていきたい。